

平成26年度徳島地域留学生交流推進協議会議事要旨

1. 日 時 平成27年1月27日（火）15:00～16:20
2. 場 所 徳島大学地域・国際交流プラザ（日亜会館）1階会議室
3. 出席者 別紙のとおり

議事に先立ち、文部科学省高等教育局学生・留学生課 井上留学生交流室長から、挨拶及び所管事項の説明として、①外国人留学生受入れの現状 ②戦略的な国・地域からの受入れの課題とソリューションについて、配付資料に基づき、説明があった。

（説明の概要）

文部科学省は、2020年までに留学生30万人の受入れを計画しており、留学生交流についての交流協定締結等により、ここ数年の留学生数は増えており、計画は着実に進んでいる。しかしながら、世界各国共に留学生の囲い込みに力を入れており、日本も世界の流れに負けないよう、優秀な留学生を数多く受け入れる取組みを進めている。

日本の留学生受入れの問題点として、学位取得目的の中長期の留学に偏る傾向があり、今後は短期のプログラムを充実させる必要がある。

企業の動向として、アジアへの進出が加速しており、留学生を採用する企業の割合が増えている。しかしながら、企業は留学生の採用に日本語ができることを重視する傾向があるため、文科省が設置を進めてきた英語コースでは就職につながらない結果となっている。そのため、日本語の教育も必要であると考えます。

世界各国で優秀な学生の取り合いになっているので、高校との提携、大学の強みを活かす、短期留学を受け入れる等、それぞれの大学で方針を明示して戦略的に受け入れることが必要である。

留学生交流のために、留学コーディネーターの配置や住環境・就職支援についても充実させたいと考える。トビタテ！留学JAPAN 第3期についても積極的に応募いただきたい。

4. 協議事項

（1）留学生に対する奨励事業の平成25年度監査報告について

細井運営委員会委員長から、協議事項資料1-1に基づき、留学生に対する奨励事業の平成25年度決算について説明があった後、平成26年10月28日（火）に鳴門教育大学監査員による会計監査が行われ、同年11月27日（木）に開催された本協議会運営委員会においても了承されている旨報告があり、審議の結果、承認された。

細井運営委員会委員長から、協議事項資料1-2に基づき、平成23年2月に行った貸付について未収金が生じていることについて説明があり、審議の結果、当該

未収金を回収不能金として平成26年度決算に計上することとし、平成27年度の推進協議会に報告することとした。

細井運営委員会委員長から、協議事項資料1-3に基づき、徳島地域外国人留学生に対する奨励事業回収不能金に関する申合せ（案）について説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 留学生の就職支援について

細井運営委員会委員長から、協議事項資料2-1に基づき、平成23年度から25年度までの徳島地域留学生の就職状況について説明があった。続いて、協議事項資料2-2に基づき、就職支援セミナーの開催状況、企業見学旅行の実施予定について説明があり、今後も推進協議会として、各団体の意見を聞きながら、協力して就職支援に取り組むこととした。

(3) 平成27年度実施事業計画について

細井運営委員会委員長から、協議事項資料3に基づき、平成27年度実施事業計画について説明があり、審議の結果、平成26年度に実施した①生活用品の無償提供 ②徳島文化体験交流会 ③外国人による日本語弁論大会 ④かずらばしの発行 ⑤ホストファミリー事業 ⑥多文化体験交流会 ⑦留学生に対する奨励事業 ⑧留学生の就職支援事業 を 継続して行うことが承認された。

(3) 徳島地域における留学生交流の今後について

細井運営委員会委員長から、協議事項資料4に基づき、留学生の住環境・就職支援等受入れ環境の充実のための文部科学省の施策について説明があり、推進協議会として申請を検討しており、各団体に協力を依頼した。

井上室長から、同施策は予算が当初より減額されているが、是非申請していただきたいとのコメントがあった。

続いて、徳島大学国際センター三隅教授から、留学生交流拠点整備事業について事業の概要、今年度の活動状況、来年度の課題等及び各団体へ引き続き協力をお願いしたいとの説明があった。

四国大学の松重委員から、同事業の今後の予算について質問があり、三隅教授から、宿泊にホームステイを取り入れて現在も少ない予算で事業を運営する工夫を行っているが、交通費が課題であり、各大学に支援のあり方をご相談したいとの回答があった。香川議長からは、補助金のストップで事業がストップするのは好ましくないため、今後も支援したいとの回答があった。

5. 報告事項

(1) 徳島地域留学生交流推進協議会からの退会について

細井運営委員会委員長から、報告資料1に基づき、鳴門ダイバーシティクラブから、クラブ活動休止のため本協議会を退会したい旨の申し出があったことの報告があった。

6. 井上室長による講評

留学生交流拠点整備事業について、成果があったと思っている。予算に限りがあるが、必要な提案があれば採択して行きたい。また、補助金が終了した後も事業を継続し、時代や経済状況の変化に対応して、取組みを進化させていただきたい。